

令和元年度

事業報告書

特別養護老人ホーム虹ヶ丘
ヶ ア ハ ウ ス 虹 ヶ 丘
虹ヶ丘短期入所生活介護事業所
虹ヶ丘デイサービスセンター
虹ヶ丘在宅介護支援センター
虹ヶ丘ホームヘルパーステーション
虹ヶ丘障害者短期入所事業所
虹ヶ丘障害者居宅介護事業所
ふれあいホーム 神宮寺

令和元年度 高齢者総合福祉施設虹ヶ丘 事業報告書

(1) 総括

①人材育成と働きやすさの推進について

スーパービジョンの視点をもった職員を育成するため役職者を対象にしたスーパービジョン勉強会や講師力アップ研修を実施したり、インターネット型研修受講システムの導入により幅広い分野から必要な内容を随時受講できる環境を整備した。

②サービスの質の向上の推進について

限られたマンパワーでもサービスの質を向上させるために、各種の業務体系や手順の見直しを進めた。マ・ルートやCareTEX大阪への視察を通し、従来の方法にはとられない視点をもって、現在使用しているPHSを補完する通信手段の検討や待機番用のモバイル端末、眠りSCAN(眠りセンサー)の導入を進めた。また、利用者や職員の動線を見直すとともに、パソコンを増設してユニット内での記録の閲覧や入力効率化も進めた。

平成30年度にデイサービスで算定を開始した認知症加算に続き、令和元年度は特養においても認知症ケア専門加算の算定を開始した。各会議の中で言葉がけなどについての意見交換やユマニチュード勉強会など、次年度以降も引き続き施設全体で取り組む土壌を育てていきたい。

③経営の安定化の推進について

収入増の取り組みは既述の加算と口腔衛生管理加算の算定を始め、デイサービスにおける中重度ケア体制加算については算定を再開した。

一方で経費の削減については、法人主導による物品の共同購入によって一部備品の購入価格の引き下げや、ガス納入業者の変更ならびに昨年度のBEMS設置や点灯時間の長い区域の一部をLED照明に交換したことによって、光熱費を大きく削減することができた。また、リース期間満了を迎えた車両やパソコンなども契約条件を必要最小限に抑えてコスト削減につなげた。

人材の確保と定着の点では、高齢に伴う体力低下や病気の発症、転居や家庭の事情などで、特に下半期に職員の退職が重なり、利用者を安定的に受け入れることが難しい時期があった。年度末には十分ではないが職員数の目途も立ったので、新しいスタッフの育成とともに、予定していた技能実習においては、受入れ機運を高めている中での新型コロナウイルスの流行によって道筋が見えないものになってしまったが、来るべき日に備えて準備を進めたい。

④地域共生社会の実現に向けた取組の推進について

地域で行われるお祭りや文化祭などのイベントに参加した。家族会やオープンデイなど、介護家族や地域の方に向けた啓蒙啓発などの取り組みも例年に増して行うことができた。また、介護・看護人材に対する出講や実習の受入れについても積極的に取り組むことができた。

(2) 面会状況

月	人数
4	163
5	192
6	181
7	183
8	217
9	167
10	168
11	177
12	178
1	157
2	164
3	16
合計	1,963

(3) 健康管理状況

内容	利用者(特養)		職員	
	月	人数	月	人数
血液検査	7	48	7	111
			12	44
尿検査			7	109
			12	43
心電図検査	7	48	7	111
			12	44
胸部レントゲン検査	7	48	7	108
			12	0
インフルエンザ予防接種	11	48	11	68
			12	39

(4) 年齢構成別荷重平均栄養価(所要量・摂取量)(4月分)

栄養項目	特養	ケア	所要量	単位
エネルギー	1,457	1,457	1,569	kcal
たんぱく質	55.6	55.6	58.0	g
脂質	34.8	34.8	42.0	g
カルシウム	433	433	660	mg

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

(5) 全体行事

月/日	行事名	参加者数	月/日	行事名	参加者数
4/3	京都府議会議員一般選挙不在者投票	16	10/5	虹ヶ丘まつり	150
4/13	ふれあいホーム神宮寺10周年祭	60	10/15	ヨガ体操②	3
4/25	加悦谷祭り見学	100	10/16	与謝野町敬老会参加	15
5/17	避難訓練	11	10/20	RUN伴	12
5/29	敷地内草刈り	4	10/26	岩屋区合同避難訓練	120
6/4	施設外周草刈り	6	11/5	施設外周草刈り	5
6/13	ワークショップオオツキ移動販売	22	11/10	岩屋区文化祭出展	4
7/8	健康診断	159	11/12	ワークショップオオツキ移動販売	18
7/14	あわしま祭り	18	11/15	ウィル文化祭出展	6
7/16	参議院議員選挙不在者投票	21	11/21	京都府指導監査	5
7/19	避難訓練	10	12/2	職員健康診断	44
7/31	人権擁護委員相談会	5	12/26	餅つき	80
8/12	岩屋まつり出店	5	1/1	新年祝賀式	80
8/19	敷地内草刈り	4			
9/21	敬老祝賀式	40			
9/25	ヨガ体操①	9			

(6) ボランティア受入れ状況

月	グループ名	参加者数	内容	月	グループ名	参加者数	内容
4	個人ボランティア	1	買物援助	10	個人ボランティア	1	買物援助
	歌のボランティア	2	歌謡		虹ヶ丘まつり	60	ステージ・模擬店
					ウクレレサークルレファ	8	ウクレレ演奏
					歌のボランティア	2	歌謡
			うたずき人		2	歌謡	
5	個人ボランティア	1	買物援助	11	個人ボランティア	1	買物援助
	習字ボラ	2	習字		こすもす会	7	館内清掃
	個人ボランティア	1	読み聞かせ		茶ぼーとい輪や	8	オープンデイ
	オカリナ	6	オカリナ演奏				

6	個人ボランティア	1	買物援助	12	個人ボランティア	1	買物援助
	習字ボラ	2	習字		天理教ボラ	4	車いす清掃
	うたずき人	2	歌謡		ライリッシュ・オカリナ連盟	6	オカリナ演奏
	色彩福祉士ボラ	1			セシリア会	10	コンサート
					ハーモニカ竹村夫婦	2	ハーモニカ演奏
7	個人ボランティア	1	買物援助	1	個人ボランティア	1	買物援助
	つつじ会	8	館内清掃		ハーモニカ竹村夫婦	2	ハーモニカ演奏
	天理教ボラ	4	車いす清掃		丹後王国	2	節分鬼役
	色彩福祉士ボラ	1					
8	個人ボランティア	1	買物援助	2	天理教ボラ	4	車いす清掃
	加悦高ボラ	1	デイ体験		習字ボラ	2	習字
	個人ボランティア	1	読み聞かせ		個人ボランティア	1	買物援助
	ライリッシュ・オカリナ連盟	6	オカリナ演奏		ハーモニカ竹村夫婦	2	ハーモニカ演奏
	歌謡ほのぼの会	4	歌謡				
	食レクボランティア	6	デイ食レク				
9	個人ボランティア	1	買物援助	3			
	習字ボラ	2	習字				

(7) 体験学習・研修受け入れ

月	内 容	実人数
4月	久美浜高校事前実習	4
5月	久美浜高校事前実習	2
6月	加悦中体験学習	10
7月	短期職業訓練「清掃科」施設実習	6
	府立看護学校老人ホーム実習	2
	久美浜高校2年生実務者研修実習	1
	久美浜高校3年生実務者研修実習	2
8月	久美浜高校2年生実務者研修実習	1
	久美浜高校3年生実務者研修実習	2
	暁星高校介護職員初任者研修実習	3
9月	府立看護学校老人ホーム実習	2
	暁星高校介護職員初任者研修実習	1
	福祉即戦力実習	3
10月	福祉即戦力実習	3
	介護等体験実習	1
	府立看護学校老人ホーム実習	2
	江陽中学校体験学習	32
12月	加悦谷高校施設見学	26

(8)内部研修

月	内 容	講 師	人数
4月	平成31年度虹ヶ丘新人研修①	施設長・各課長	7
	リハビリ勉強会 基本的介護技術Ⅰ	神内PT	7
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	4
5月	コンプライアンスルール勉強会①	施設長	26
	コンプライアンスルール勉強会②	施設長	32
	令和元年度虹ヶ丘新人研修②	石本・小藪係長	6
	リハビリ勉強会 基本的介護技術Ⅱ	神内PT	8
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	4
6月	コンプライアンスルール勉強会③	施設長	17
	令和元年度第一回感染症勉強会①	感染症委員会	44
	令和元年度第一回感染症勉強会②	感染症委員会	35
	令和元年度虹ヶ丘新人研修③	山根・粟倉主任	4
	リハビリ勉強会 緊張と拘縮の緩和	神内PT	7
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	1
7月	講師養成伝達研修会	副施設長	9
	令和元年度普通救命講習①	宮津与謝消防組合	14
	令和元年度普通救命講習②	宮津与謝消防組合	11
	令和元年度虹ヶ丘新人研修④	平野・宇野主任	4
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	2
	特養新人研修①		2
8月	令和元年度普通救命講習③	宮津与謝消防組合	9
	特養新人研修②		3
	令和元年度第一回リスクマネジメント勉強会①	リスクマネ委員会	41
	リハビリ勉強会 シーティング わんわんベース作成	神内PT	7
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	3
9月	特養新人研修③		2
	令和元年度第一回リスクマネジメント勉強会②	リスクマネ委員会	36
	令和元年度虹ヶ丘新人研修⑤	副施設長・福田	3
	リハビリ勉強会 基本的介護技術Ⅲ	神内PT	6
10月	ユマニチュード研修会(令和元年度認知症勉強会)	丹後園職員	23
	令和元年度褥瘡予防対策委員会 全体研修①	神内PT	39
	令和元年度褥瘡予防対策委員会 全体研修②	神内PT	26
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	2
	排泄勉強会①	リブドゥ講師	21
	排泄勉強会②	リブドゥ講師	18
11月	スーパーバイザー研修報告会	宇野主任	19
	令和元年度第二回感染症勉強会①	感染症委員会	42
	令和元年度第二回感染症勉強会②	感染症委員会	30
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	1

12月	メンタルヘルス研修会①	武田理栄子氏	19
	メンタルヘルス研修会②	武田理栄子氏	38
	令和元年度看取り勉強会①	看取り委員会	23
	令和元年度看取り勉強会②	看取り委員会	26
	リハビリ勉強会 シーティング・ポジショニング応用編	神内PT	7
1月	リハビリ勉強会 摂食・嚥下の勉強会	神内PT	9
2月	リハビリ勉強会 利用者に適した車いすの調整	神内PT	5
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	2
	リハビリ勉強会 特養ケース検討	神内PT	3
	令和元年度第二回リスクマネジメント勉強会①	リスクマネ委員会	32

(9)派遣研修

月	研 修 名	主 催 者	人数
4月	利益を生み出す 生活相談員の仕事術	お茶の水ケアサービス学院	1
	虐待予防へ共感を得ることばセミナー	府社協	1
	舞鶴YMCA実習施設懇談会	舞鶴YMCA国際福祉専門学校	1
5月	感染症予防対策研修会	丹後保健所	1
	平成31年度スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	京都府老人施設協議会第1回総会	府老協	1
	認知症介護実践者研修	府老協	1
	病院ではない施設看護師の専門性と具体的な働き方	全国高齢者施設看護師会	1
	認知症介護実践者研修	府老協	1
6月	介護保険集団指導	京都府	1
	平成31年度スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	H31指定障害福祉サービス事業者に係る集団指導	京都府	1
	社会福祉法人会計セミナー「初級編」	公益法人協会	1
	難病患者支援従事者基礎研修会	丹後保健所	5
	講師養成研修会	京都府北部福祉人材確保事業事務局	1
	不在者投票事務に関する説明会	京都府選挙管理委員会	1
7月	職場リーダー養成研修	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	1
	2019年度京都府認知症介護実践者養成研修	府老協	2
	組織活性化研修in与謝野	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	2
	甲種防火管理者講習	宮津与謝消防組合	2
	相談援助が上達する研修会	お茶の水ケアサービス学院	1
	令和元年度スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	コーチング研修（人材育成の知識と技術）	お茶の水ケアサービス学院	1
8月	即戦力実習指導者向け研修会	京都府北部福祉人材確保事業事務局	1
	認知症介護実践者研修	府老協	1
	これからの給食施設における食事について	丹後保健所	1
	令和元年度スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	地域共生社会実現サポート事業補助金説明会	京都府	1
	令和元年度第1回京都府北部在宅リハビリテーション研修会	京都府	1

9月	ユニットケア施設管理者研修	日本ユニットケア推進センター	1
	社会福祉法人会計セミナー基本編	公益法人協会	1
	「生活支援記録法」 F-SOAIIP～実践編～	京都府介護支援専門委員会	1
	令和元年度中級スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	1
	中堅職員向OJT推進能力向上研修	福知連協	3
	京都府福祉避難サポートリーダー養成研修	京都府	1
10月	感染症施設内集団発生時の対応の実際	丹後保健所	1
	難病患者支援従事者研修会	丹後保健所	2
	施設見学終了後三愛荘研修施設にて研修会	府老協	1
	令和元年度中級スーパーバイザー養成研修	府社協	1
	感染症施設内集団発生時の対応の実際	丹後保健所	1
	介護用品展	ブティックス(株)	3
	地区別看取りサポート研修	京都府看護協会	1
	医療と介護の連携推進研修会	丹後保健所	1
	コーチングを活かしたアンガーマネジメントステップアップ編	府社協	2
	地域共生社会の実現に向けて	京都府介護支援専門委員会	1
	京都DWAT養成研修	京都府	1
	外国人介護士受入スタッフ研修	福知連協	2
	介護実習報告会	京都府立久美浜高等学校	1
	令和元年度安全運転管理者法定講習	京都府公安委員会	1
	福祉リーダーの極意を学ぶセミナー	府社協	3
	ユニットリーダー研修実地研修	日本ユニットケア推進センター	1
11月	社会福祉法人会計セミナー実践編	公益財団法人 公益社団法人	1
	令和元年度スーパーバイザー養成研修	京都府福祉人材研修センター	1
	高齢者施設等と北部医療センター職員との連携会議	北部医療センター・丹後保健所	1
	フィリピン視察	国際高度人材開発センター	1
	年末調整説明会	宮津税務署	1
	生活場面における介護技術	京都府ホームヘルパー連絡協議会	1
12月	地域密着サービス部会研修会	京都老人福祉施設協議会	1
	ユニットin北京都デイサービス部門 交換研修	ユニットin北京都	1
	令和元年度中級スーパーバイザー養成研修	府社協	1
1月	スーパーバイザー養成フォローアップ研修	京都FSV	1
	技能実習責任者講習	一社)関西環境開発センター	1
2月	看取り基礎研修	京都府看護協会	1
	非常時の栄養管理について	丹後保健所	1
	HACCP基礎講座セミナー	ホシザキ	1
	看取り基礎研修	京都府看護協会	1
	施設看取り研修	府老協	1

(10) 諸会議参加状況

会 議 名	主 催 者	延べ日数
ユニットIN北京都介護部門会議	ユニットIN北京都	11
ユニットINデイサービス部門会議	ユニットIN北京都	4
与謝野町ケアマネ連絡会	与謝野町	4
与謝野町事業所連絡会	与謝野町	1
キャラバンメイトコアメンバー会議	与謝野町包括	3
ユニットIN北京都小規模多機能部門会議	ユニットIN北京都	4
オレンジロードつなげ隊圏域会議	丹後保健所	1
与謝野町ケアマネ交流会	与謝野町包括	2
ユニットIN北京都ケアマネ部門会議	ユニットIN北京都	3
ユニットIN北京都食事部門会議	ユニットIN北京都	1
RUN伴与謝野町会議	RUN伴実行委員会	2
地域ケア個別会議	与謝野町包括	2
外国人技能実習打ち合わせ	技能実習受入れ準備委員会	1
RUN伴世話人会議	RUN伴実行委員会	1
認知症カフェ会議	与謝野町包括	3
与謝郡小規模多機能介護士交流会	与謝郡小規模多機能連絡会	3
与謝郡小規模多機能連絡会議	与謝郡小規模多機能連絡会	3
RUN伴事前説明会	RUN伴実行委員会	1
技能実習検討会議	技能実習受入れ準備委員会	1
ヘルパー交流会	ヘルパー交流会	1
ユニットIN北京都施設長会	ユニットIN北京都	1
与謝野町ボランティア連絡会議	与謝野町社協	1
軽費老人ホーム北部ブロック生活相談員研究会	府老協軽費部門	3
京都府初期集中支援チーム連絡会	与謝野町	1

(11) 高齢者介護者教室

月 日	内 容	参加者数	会 場
5/29	支援センター介護者家族会	5	天橋立
6/24	排泄介助の基本およびおむつ交換の実習	12	よさのうみ福祉会業の花ホーム
7/16	岩屋地域サロン(脳トレ・口腔体操)	30	岩屋地区公民館
7/26	認知症サポーター養成講座	15	うえもりデイサービス
10/9	福祉体験に向けての講話	80	江陽中学校
11/26	支援センター家族交流会	10	虹ヶ丘
11/17	茶ぽーとい輪や合同オープンデイ	20	虹ヶ丘

(12) 事故状況

平成30年度と比較すると、事故総数は794件から618件へと176件の大幅な減少となった。総数が減少した内容を精査すると、軽微な外傷を含む原因不明の内出血等の事象が288件から186件へ、介助中の事故についても83件から60件へと減少している。部署の内訳をみると特養・ショートの記事件数が700件から506件へと減少しており、全体の8割以上を占める特養・ショートの記事件数が減少したことが大幅な総数の減少につながったものと考えられる。以上の内容から、内出血等しやすい身体機能が重度の入居者が減少し、一部介助等、ある程度は自力で動ける入居者が多くなったものと推察される。

その反面、受診を伴う件数は15件から13件へと微減にとどまっており、事故の総数が大きく減少した中で、最も減らさなければならない重大インシデントについては、前年と同水準で発生している。受診を伴う事故内容についても精査すると、転倒による骨折が9件を数えており、転倒リスクのある活動性が高い利用者が増加しているものと考えられる。転倒防止のため、居室内の環境を見直し、センサーマットなどの福祉用具も活用しているが、前年度と比較すると大きな差異がないため、今後も重大インシデントの発生を予防するための取り組みを進めたい。

総件数	転倒・転落	介助中事故	外傷	薬関係	誤嚥・誤飲	その他	内受診件数
618	158	60	186	86	1	127	13

(13) 満足度アンケート

回収率については、送迎時、施設面会時に回答の協力を呼びかけたことで、前年度に比べて約5%上昇し全体で44.8%となったが、法人の他の施設に比べると決して多い数字ではないため、次年度以降もできる限り多くの方から回答をいただけるための工夫を検討していきたい。

満足度は「満足」と「やや満足」を足して88.5%と昨年度の95.0%から減少している。無回答が前回の3名から11名と増えていることによると思われるが、未記入の用紙を提出されていることがこれだけ多くなっていることも真摯に受け止めなければならないと感じている。

回答の中身については、言葉づかいについてのご指摘や、食事の献立や調理方法に関すること、入浴時に同性介助を求める声や外出機会の増加を望まれる声、洗面設備の拡充を望まれる声、災害時の避難を心配されている声などが見られた。

一方では感謝や労いの言葉もたくさん頂戴し、人員体制が十分に整わないなかで、多様化するニーズに対応できるスタッフの資質向上が継続した課題となっている。

① 配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率
特養	47	24	51.1%
ケアハウス	26	12	46.2%
在宅サービス	142	62	43.7%
神宮寺	17	6	35.3%
合計	232	104	44.8%

② サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特養	20	3	0	0	1	24
ケアハウス	7	2	0	0	3	12
在宅サービス	44	11	1	0	6	62
神宮寺	5	0	0	0	1	6
合計	76	16	1	0	11	104
回答構成率	73.0%	15.4%	1.0%	0.0%	10.6%	

令和元年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘事業報告書

1 総括

令和元年度は職員体制に大きく変動があった。7月に看護職員の減員を受け、特養看護係とショートステイ看護職を一体化することを基本方針として、特養・デイサービス・ショートステイの各々で、看護・介護の業務内容や分担について見直しを図った。また下半期には介護職の減員が続き、業務の見直し、勤務時間の見直しを図った。特養職員だけでは十分ではなく、他部署ならびに他職種の応援を受けるなど、他職種連携がより強化できた。

入居者においては、13名の方が退所された。そのうち7名の方が施設で看取りケアを行った。入居者やその家族が安心して最期を迎えられるように、各専門職間で情報を共有しながら寄り添う支援に努めた。施設内の看取り勉強会では、各ユニットで看取りの実践を発表しあうことで、看取りに対する理解が深まり意識を高めることができた。毎日の暮らしの延長線上に看取りがあるということ改めて確認しあった。しかし、入居者が安心して過ごすことができる居場所作りを目指すために、24時間シートを活用した支援に切り替えることに対しては二の足を踏んでいる状態で、次年度も引き続き重点課題として取り組んでいきたい。

2 入退所状況

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	2	1	2	1	0	2	0	2	0	2	1	1	14
退所者数	1	1	1	0	2	0	2	0	3	0	0	3	13
月末在籍者数	48	48	49	50	48	50	48	50	47	49	50	48	

3 入所者状況

平成30年度末は4つの空床があったため、空床期間をできる限り短くすることに努めたが、ユニット状況や職員体制などの諸事情で円滑な入所に繋げることができず、満床状態は年間4ヶ月だけであった。入居者の平均介護度は4.06と昨年の3.78より上がっている。入居期間は昨年は3年未満の方が26.1%と一番多かったが、31年度は5年以上10年未満の方が31.3%と多い。しかし、下半期に入居されて数か月で亡くなるケースが続いた。体調に関しては、感染性胃腸炎やインフルエンザなどの感染症の罹患もなく経過した。通院に関しては泌尿器科の定期受診や整形外科の受診、また豊岡病院にドクターヘリで運ばれそのまま入院される方、救急受診から誤嚥性肺炎や尿路感染で入院される方が多く、そのまま看取りになるケースが今年度もやはり多く見られた。年々入居者も高齢化が進んでいく中、虹ヶ丘で穏やかに生活していただけるよう僅かな変化にも気づきを持ってよう多職種と連携を強化していきたい。

(1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	1	1	2.0%
要介護3	4	10	14	29.2%
要介護4	1	13	14	29.2%
要介護5	1	18	19	39.6%
合計	6	42	48	100.0%
平均要介護度	3.50	4.14	4.06	

(2) 年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	1	4	5
80-89	0	24	24
90-99	5	13	18
100-	0	1	1
合計	6	42	48
平均年齢	88.8	87.4	87.1
最高年齢	96	100	
最低年齢	71	71	

(3) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	5	35	40
伊根町	0	2	2
宮津市	0	1	1
その他	1	4	5
合計	6	42	48

(4) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	3	6.3%
5年以上～10年未満	15	31.3%
3年以上～5年未満	6	12.5%
1年以上～3年未満	13	27.1%
1年未満	11	22.9%
合計	48	100.0%

4 入所者の健康状況

(1) 利用者の診察状況

診察別	入院		通院	診察別	入院		通院
	人数	日数	日数		人数	日数	日数
内科系疾患	9	163	26	耳鼻科系疾患	0	0	0
外科系疾患	2	31	6	皮膚科系疾患	0	0	106
精神科系疾患	0	0	20	泌尿器科系疾患	1	8	23
婦人科系疾患	0	0	0	整形外科系疾患	0	0	13
眼科系疾患	0	0	6	歯科系疾患	0	0	248
				合 計	12	202	448

(2) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
伊藤内科医院	27	2.25
宮津市由良診療所	26	2.16

5 サービス状況

入居者の身体的機能低下防止や単調な生活の中で刺激や気分転換の機会となるよう平日の午前中にテレビ体操を実施している。各自体調に応じて無理なく参加していただき、またユニットを超えた交流の場にもなっている。また、虹の会での取り組みや喫茶も月1~2回実施して、ユニット以外の入居者や職員と触れ合う場所にもなっている。個別ケアはもとより、ユニットおよびグループ単位でドライブ、外食、食事会などを実施した。地域のボランティアの方にお世話になり、習字クラブや歌、踊り、そして作物の収穫など施設だけでは提供できない生活の潤いをいただくことができた。10月には虹ヶ丘まつりが開催され、多くのご家族や地域の方に来設していただき、様々な催し物もあり、楽しい時間を過ごすことができた。

(1) 部署・ユニット行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/6	Aグループドライブ(花見)	14	10/1	習字	10
/17	喫茶	45	/5	虹ヶ丘まつり	50
/27	加悦谷祭り	40	/15	東2餃子づくり	14
5/1	喫茶	45	/16	与謝野町敬老会	14
/13	Aグループ遠足①(伊根)	10	/21	ふれあい(ウクレレサークルレファ)	25
/15	喫茶	45	/23	喫茶	45
6/4	習字	10	/26	岩屋区合同避難訓練	47
/9	岩屋熱気球さつま芋苗植え	2	11/5	習字	10
/19	喫茶	30	/6	喫茶	45
/20	虹の会(卓球バレー大会)	20	/27	運動会	40
/27	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	25	12/23	BグループXmas会	26
7/3	喫茶	45	/24	AグループXmas会	24
/9	習字	10	/26	餅つき大会	40
/17	喫茶(虹の会合同)	45	1/24	東2食レク(みたらし団子作り)	14
8/10	西2食レク+花火大会	14	/22	喫茶	45
/13	盆供養	20	2/5	喫茶	45
/21	喫茶	45	/11	習字	10

/29	ふれあい(歌謡ほのぼの会)	20	2/17	ふれあい(ハーモニカデュオ)	30
9/4	喫茶	45	/19	喫茶	45
/10	習字	10	3/4	喫茶	45
/17	Bグループ花火大会	15	/18	喫茶	45
/18	喫茶	45			
/21	敬老祝賀式	40			
/27	岩屋熱気球さつま芋苗掘り	5			
/30	虹の会(スシロー)	4			

令和元年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

1 総括

令和元年度の入居者は5名、退去者は4名となり、年度末時点での空室はないが、二人部屋については緊急対応で単身入居されているため14名の入居となっている。入居された5名の主な入居理由は、独居生活を続けておられたが入院を機にケアハウスを勧められ選択された方が2名、体調不良などにより在宅サービスを利用しても独居生活が困難になった方が2名、家族と同居していたが、別居家族の勧めで入居された方が1名となっている。5名の平均年齢は91歳と高齢の方の入居が続いた。

退去された4名の主な理由は、自宅での生活を再開された方が1名、急な体調不良で入院中に死亡された方が1名、他2名は体調不良による入院のため退去された。そのうちの1名は併設の特養に妻が入居されており、進行性の病気を診断された後もできるだけ妻の近くで生活したいとの意向があり、体調不良の中で関係機関と連携しながらぎりぎりまでケアハウスでの生活を支援した。

平均介護度は1.5ではあるが、平均年齢は91.4歳と高くなっている。14名中サービスを利用していない方は2名、うち1名はサービスを検討中であり、サービス利用だけでなく、職員の見守り、介助の必要な方も増えており、8月より職員体制を3名に増やし、日々の様子観察や関係機関との連携強化に努めている。

毎日の体操は多くの方が意欲的に参加されているが、外出することには消極的で、ほとんど参加がなくなっている。ADLの維持のためにも工夫を凝らしながら気分転換していただけるような行事やイベントを企画、提供していきたい。

年度末には新型コロナウイルス感染症で買い物や面会を制限した。厳しい状況は続くかもしれないが、一人一人の体調把握を行い、施設内での感染症予防に留意し、関係機関との連携で必要な援助を検討し、本人の望むケアハウス生活を維持していただけるように支援していきたい。また、家族には細やかに状態報告の機会をつくり、入居者、家族とも安心して過ごすことができるような支援をしていきたい。

2 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	5
退居者数	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4
月末在籍者数	13	13	13	12	12	13	13	13	14	14	14	14	

3 入居者状況

(1) 年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－69	0	0	0
70－79	0	0	0
80－89	2	4	6
90－99	0	8	8
100－	0	0	0
合計	2	12	14
平均年齢	85.5	92.2	91.4
最高年齢	87	99	
最低年齢	86	85	

(2) 出身地別状況

出身地	男性	女性	合計
与謝野町	1	11	12
伊根町	1	0	1
宮津市	0	1	1
その他	0	0	0
合計	2	12	14

4 身体状況

(1)要介護度別 平均 1.5

介護度	男性	女性	合計	構成比
認定無	0	0	0	0%
要支援1	0	1	1	7%
要支援2	1	2	3	21%
要介護1	1	3	4	29%
要介護2	0	4	4	29%
要介護3	0	2	2	14%
要介護4	0	0	0	0%
要介護5	0	0	0	0%
合計	2	12	14	100%

(2)在宅サービス利用状況

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	8	57.1%	
訪問看護	6	42.9%	
短期入所	0	0.0%	
通所介護	4	28.6%	
通所リハ	0	0.0%	
小規模多機能	3	21.4%	

5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名	人数
4月	歌のボランティア	2
5月	なし	
6月	色彩福祉士ボランティア	1
7月	色彩福祉士ボランティア	1
8月	なし	
9月	なし	
10月	歌のボランティア	2
11月	なし	
12月	ハーモニカボランティア	2
1月	なし	
2月	なし	
3月	なし	

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)	(クラブ名)
4月	ス`ンド`コ体操	
5月	ス`ンド`コ体操	
6月	ス`ンド`コ体操	
7月	ス`ンド`コ体操	
8月	ス`ンド`コ体操	
9月	ス`ンド`コ体操	
10月	ス`ンド`コ体操	
11月	ス`ンド`コ体操	
12月	ス`ンド`コ体操	
1月	ス`ンド`コ体操	
2月	ス`ンド`コ体操	
3月	ス`ンド`コ体操	

月例行事 買物サービス(毎週)

令和元年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

1 総括

今年度は各月70名～84名、月平均で約77名の利用者のご希望にできるだけ応えられるようスケジュール調整を行ってきた。緊急や追加利用の希望に対しては、できる限り対応し、中には認知症による行動障害の激しい方の受け入れを緊急で行い、翌日には精神科病院につないだケースもあった。虐待が疑われる方や若年性認知症の方の受け入れも関係機関との連携のもとで行ってきた。

病休や産休など職員数変動の中で、厳しい勤務体制を強いたこともあった。併設特養の職員事情により、1月からは特養側にある居室を4床から2床に減らし、合計で18床を上限としたスケジュール調整を余儀なくされたり、一時期には、特養や老健入所、亡くなられた方などが続き、稼働が振るわないこともあったが、1日平均利用者17.3名と昨年よりも0.2名多い稼働率で推移することができた。

厳しい職員体制の中でも受診に至る大きな事故はなかったが、数件の転倒や転落事故はあった。事故防止のため、センサーマットを設置するなど、取れる対策は行っているが、完全に防ぐことはできない。今後も利用者が安全に過ごせるようにその方に合った対応を考えていきたい。

また、最近の傾向として、独居の利用者を介護するため遠方から家族が通われ、帰られる間にショートステイ利用をされる方も増えている。年度末より首都圏、関西圏を中心に新型コロナウイルスの感染拡大が危惧される中、利用者だけではなく家族の体調確認、利用中の様子など注意深く観察し、施設内での集団感染が起きないように注意していきたい。そして、利用者、家族が安心して在宅生活を継続できるサービスとしてショートステイを利用していただけるような対応に努めたい。

2 利用状況

(1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	497	0	5	0	502	16.7
5月	518	0	4	0	522	16.8
6月	523	0	5	0	528	17.6
7月	552	0	5	0	557	18.0
8月	540	0	5	0	545	17.6
9月	521	0	2	0	523	17.4
10月	543	0	2	0	545	17.6
11月	533	0	0	0	533	17.8
12月	549	0	2	0	551	17.8
1月	516	0	2	0	518	16.7
2月	502	0	0	0	502	17.3
3月	501	0	0	0	501	16.2
合計	6,295	0	32	0	6,327	17.3

(2)実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障がい	1人当り平均利用日数
4月	77	72	3	2	6.5
5月	83	79	2	2	6.3
6月	83	78	3	2	6.4
7月	84	79	3	2	6.6
8月	80	76	2	2	6.8
9月	77	73	2	2	6.8
10月	79	76	1	2	6.9
11月	75	72	2	1	7.1
12月	75	71	2	2	7.3
1月	74	70	2	2	7.0
2月	71	68	2	1	7.0
3月	70	68	1	1	7.0
平均	77.3	73.5	2.1	1.8	6.8

(3)年齢別状況 3月度

年齢	男性	女性	合計
-64	1	2	3
65-69	1	0	1
70-79	1	6	7
80-89	4	21	25
90-99	4	28	32
100-	0	2	2
合計	11	59	70
平均年齢	82.3	88.4	87.5
最高年齢	99	100	
最低年齢	60	49	

(4)要介護度別状況(3月度)

介護度別

平均 2.8

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	1	1	1.4%
要介護1	1	9	10	14.5%
要介護2	0	14	14	20.3%
要介護3	5	22	27	39.1%
要介護4	3	6	9	13.0%
要介護5	2	6	8	11.6%
合計	11	58	69	100.0%

障がい区分別

平均 6.0

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	1	1	100.0%
合計	0	1	1	100.0%

令和元年度 虹ヶ丘デイサービスセンター 事業報告書

1 総括

今年度は、施設内の看護師の体制が大きく変わったこともあったが、介護職員の異動はなく安定した体制でスタートをきることができた。そのため、職員個々のスキルアップ、利用者への丁寧な対応と充実したサービスの提供と、中重度者の受入れや、追加、振替利用の受入れを積極的に行うことができた。職員個々のスキルアップについては、外部研修、勉強会への参加、他施設との交換研修を取り入れた。利用者の38.4%を中重度者が占め、その中には医療的ケア(経管栄養、気管切開、吸引、パウチ交換、バルーン留置、浣腸など)を必要とし、体調が不安定な方も多数利用されたが、不安定な状態の利用者に合わせた適切な対応を心がけたことで、そうした経験が職員全体のスキルアップにも繋がったものと思われる。一方で、重度の方では老健利用や体調不良による欠席、入院される方などもあり、昨年度に比べて1日平均は0.3名の増加にとどまった。

地域とのつながりとしての取り組みでは、複数のボランティアとの出会いから、年間を通じて様々な催しを提供することができた。また、一昨年から実施している茶ぽーとい輪やとの共同開催であるオープンデイを続けてきたことで、岩屋区の地域住民からも施設がより身近に感じられるようになったという声を聞かせてもらえるようになってきた。

次年度はこれまで行ってきたことを継続しつつ、多くの利用者の在宅生活を支援できるように取り組んでいきたい。

2 サービス実績の状況

	開所 日数	実人数	介護	総合 事業・ 予防	障がい	延利用 人数	介護	総合 事業・ 予防	障がい	1日 平均	介護	総合 事業・ 予防	障がい
4月	26	69	59	10	0	479	422	57	0	18.4	16.2	2.2	0.0
5月	27	64	56	8	0	495	435	60	0	18.3	16.1	2.2	0.0
6月	25	66	59	7	0	487	417	70	0	19.5	16.7	2.8	0.0
7月	27	68	61	7	0	520	449	71	0	19.3	16.6	2.6	0.0
8月	27	66	60	6	0	523	457	66	0	19.4	16.9	2.4	0.0
9月	25	70	65	5	0	488	457	31	0	19.5	18.3	1.2	0.0
10月	27	65	62	3	0	509	484	25	0	18.9	17.9	0.9	0.0
11月	26	66	62	4	0	509	481	28	0	19.6	18.5	1.1	0.0
12月	26	69	65	4	0	496	471	25	0	19.1	18.1	1.0	0.0
1月	27	71	68	3	0	551	526	25	0	20.4	19.5	0.9	0.0
2月	25	70	66	4	0	511	481	30	0	20.4	19.2	1.2	0.0
3月	26	71	65	6	0	524	483	41	0	20.2	18.6	1.6	0.0
合計	314	815	748	67	0	6,092	5,563	529	0	19.4	17.7	1.7	0.0

3 介護度別利用状況

(1)介護度別

平均 2.2

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	2	4	6	8.4%
要介護1	3	18	21	29.6%
要介護2	1	17	18	25.4%
要介護3	6	10	16	22.5%
要介護4	2	5	7	9.9%
要介護5	1	2	3	4.2%
合計	15	56	71	100.0%

(2)障がい区分別

平均 -

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	-
区分2	0	0	0	-
区分3	0	0	0	-
区分4	0	0	0	-
区分5	0	0	0	-
区分6	0	0	0	-
合計	0	0	0	-

4 年齢構成別登録状況

(1) 介護サービス

	男性	女性	合計
-64	0	1	1
65-69	1	3	4
70-79	3	3	6
80-89	5	19	24
90-99	3	25	28
100-	0	2	2
合計	12	53	65
平均年齢	84.8	88.3	87.6
最高年齢	99	100	
最低年齢	68	49	

(2) 予防・総合事業サービス

	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	0	0	0
80-89	0	3	3
90-99	2	1	3
100-	0	0	0
合計	2	4	6
平均年齢	94.0	87.7	89.8
最高年齢	97	91	
最低年齢	91	83	

(3) 障がいサービス

	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	0	0	0
80-89	0	0	0
90-99	0	0	0
100-	0	0	0
合計	0	0	0
平均年齢	-	-	-
最高年齢	-	-	
最低年齢	-	-	

5 デイサービス行事

月	行事名
4月	外出レク(やすら苑見学・花音食事)、外食レク(スシロー)、買物レク(バザール、ウイル)
5月	食レク(おだまき)、読み聞かせボランティア、オカリナボランティア、買物レク(バザール、ウイル)
6月	あじさいドライブ、歌好き人ボランティア、買物レク(バザール、ウイル)
7月	地域サロン(岩屋公民館)、山田小学校との交流
8月	食レク(そうめん稲荷)、食レクボランティア、読み聞かせボランティア、オカリナボランティア、買物レク(バザール、ウイル)
9月	石川小学校との交流、買物レク(バザール、ウイル)
10月	三河内小学校との交流、紅葉ドライブ週間、歌すき人ボランティア、買物レク(バザール、ウイル)
11月	ウイル文化祭出展、ウイル文化祭見学、オープンデイ(茶ポートい輪や共同)、岩屋文化祭出展、買物レク(バザール、ウイル)
12月	外食レク(スシロー2回)、オカリナボランティア、歌ボランティア、買物レク(バザール、ウイル)
1月	ハーモニカボランティア、丹後王国鬼ボランティア、買物レク(バザール、ウイル)
2月	買物レク(バザール、ウイル)
3月	食レク(手打ちそば)

令和元年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

1 総括

今年度の居宅介護支援件数は1,396件と昨年に比べ29件増加し、月平均116件となった。また、要支援者も昨年に引き続き地域包括支援センターからの委託という形で2件受けている。件数の増加は2年連続しており、一昨年に比べると117件増えている。新規利用者の受け入れは37名で、地域に密着した相談センターとして、また、経営の面からも4名の介護支援専門員が意識・協力し、各々が業務管理を適切に行うことで、丁寧かつスピーディーに対応することができたと思われる。

連携面では、“住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるまちづくり”を目標に、ケアマネ連絡会や地域ケア会議などに積極的に参加した。横のつながりをつくるとともに、情報の共有が深められ、利用者や家族が望む生活に少しでも近づけるように協力し、支援できたと思う。

家族支援では、家族会を2回開催した。5月の天橋立外出には5名、11月の認知症サポーター養成講座には13名の方が参加され、昨年より参加人数が大幅に増加した。これは介護者家族が何を求めているかを拾い上げ、家族会の内容を検討できたからではないかと思われる。今後も介護者家族に寄り添った家族会の運営に努め、介護者家族同士のつながりが促進され、支え合えるようになればと思う。

来年度は、さらなるスキルアップとともに地域貢献できる事業所となりたいところではあるが、現状の体制では新規利用者の受け入れをストップせざるを得ない状態にある。そのような中でも、業務管理と事業所内の協力体制を強化することで、少しでも新規利用者を受け入れられるような体制に移行するとともに、地域や関係事業所に選んでもらえる相談支援センターとなるように人材育成に努めたいと思う。

2 事業実施状況

(1) 受入実績

	居宅介護支援									介護予防支援		
	件数	初回加算	特定事業所加算(Ⅱ)	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	小規模多機能型連携加算	緊急時カンファレンス加算	ターミナルケアマネジメント加算	件数	初回加算	小規模多機能型連携加算
4月	116	6	116	7	1	1	0	0	0	2	0	0
5月	111	3	111	3	0	2	0	0	0	2	0	0
6月	115	3	115	4	0	2	0	0	0	2	0	0
7月	118	5	118	2	0	1	0	0	0	2	0	0
8月	117	4	117	2	1	0	0	0	0	2	1	0
9月	120	4	120	7	2	2	0	0	0	2	0	0
10月	121	4	121	2	0	0	0	0	0	2	0	0
11月	119	2	119	4	0	1	0	0	0	2	0	0
12月	117	2	117	3	1	1	0	0	0	2	0	0
1月	115	1	115	4	1	2	0	0	0	2	0	0
2月	113	4	113	4	0	1	0	0	1	2	0	0
3月	114	1	114	3	0	2	0	0	0	2	0	0
合計	1,396	39	1,396	45	6	15	0	0	1	24	1	0

(2) 相談内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数	相談区分	件数	実人数
介護保険関係	95	65	他サービス利用	49	14
医療健康相談	2,176	178	介護保険以外のサービス	132	51
デイサービス利用	1,276	139	認知症の介護に関する相談	218	62
ホームヘルプ利用	506	64	介護に係る相談	156	43
訪問入浴利用	52	13	担当者会議	187	118
ショートステイ利用	563	73	モニタリング	1,542	152
訪問看護利用	411	56	虐待に関する相談	4	3
デイケア利用	11	2	権利擁護に係る相談	2	2
施設入所関係	164	57	その他	0	
住宅改修・福祉用具	823	120	合計	8,367	1,212

区分	電話	来所	訪問	文書	FAX	メール	その他	合計
本人	661	19	2,058	71	15	0	187	3,011
家族	955	44	1,570	11	5	4	137	2,726
関係機関	1,049	35	1,088	128	18	3	285	2,606
相談協力員	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	11	0	11	0	0	0	2	24
合計	2,676	98	4,727	210	38	7	611	8,367

令和元年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

1 総括

今年度は昨年度と同じ傾向で、上半期は新規利用者の受け入れを進め、訪問件数ともに例年と変わらない実績を維持できたが、下半期は職員体制が整いにくく、新規受け入れへの対応が難しくなり訪問件数は減少した。障がい者総合支援法における利用者は、継続で4名にサービス提供を行った。それぞれに体調、様子、環境等に変化が見られ、他事業所と連携をとりながら支援することができた。

ヘルパー研修では、インターネット視聴研修を取り入れた。外部講師の研修を事業所内で職員全員が受けることができ時間効率の点からも効果的であった。

利用者や利用者を取り巻く環境も様々で、個別支援のあり方に悩むことが多い。一人で居宅を訪問し、決められた時間の中で支援を行わなければならないヘルパーは、身体面だけでなく精神的にも負担が大きく、そのことが職員体制にも影響している部分が少なくないと思われる。虹ヶ丘だけではなく、他事業所もヘルパーが不足し、新規のニーズに対応できない時期もあった。

利用者の望む生活を支えていくために欠かせない訪問介護サービスを維持していくために、職員一人一人が知識と技術の引き出しを増やすだけでなく、職員同士の信頼関係や連携を深め、精神的な負担を軽減しながら援助が継続できるように考えていきたい。そして、住み慣れた地域での生活の継続を望む利用者のニーズに応えられるようにしていきたい。

2 利用者状況

(1)要介護度別 3月度 平均 1.9

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	1	2	3	11.6%
要介護1	2	7	9	34.6%
要介護2	2	7	9	34.6%
要介護3	1	1	2	7.7%
要介護4	0	2	2	7.7%
要介護5	1	0	1	3.8%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	7	19	26	100.0%

(2)障がい区分別 3月度 平均 3.8

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	2	0	2	50.0%
区分4	1	0	1	25.0%
区分5	1	0	1	25.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	4	0	4	100.0%

(3)年齢別 3月度

	男性	女性	合計
－59	3	0	3
60－64	1	0	1
65－69	0	0	0
70－79	2	3	5
80－89	3	8	11
90－99	2	8	10
100－	0	0	0
合計	11	19	30
平均年齢	75.0	87.0	82.2
最高年齢	93	98	
最低年齢	59	75	

(4) サービス実績の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険サービス	身体介護	147	124	140	141	99	115	118	94	70	46	48	71	1,213
	身体生活	0	0	0	3	10	5	5	4	5	4	3	9	48
	生活援助	112	126	132	142	125	145	129	115	121	114	105	99	1,465
	延件数	259	250	272	286	234	265	252	213	196	164	156	179	2,726
	初回加算	1	5	0	2	2	1	1	1	1	1	0	1	16
	緊急時加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用実人数	25	25	23	26	27	27	25	24	25	25	23	23	
総合事業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	36	34	32	32	28	32	36	34	34	41	40	35	414
	初回加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	利用実人数	4	4	4	4	3	3	3	3	3	4	4	3	
障がい		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	50	51	51	58	46	51	55	52	57	54	54	57	636
	利用実人数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
合計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	345	335	355	376	308	348	343	299	287	259	250	271	3,776
	利用実人数	33	33	31	34	34	34	32	31	32	33	31	30	
	訪問時間	249:40	251:40	262:00	284:50	250:35	267:15	264:35	232:10	231:45	211:50	200:10	193:35	2900:05

令和元年度 ふれあいホーム神宮寺 事業報告書

1 総括

令和元年度は、新規登録は5月からほぼ毎月のようにある一方、登録後1年未満で中止となるケースが数件あった。登録者数については、年間平均20.3名/月と、前年度を下回っている。要介護4・5の利用者が3月末の時点では0名だが、要支援0名、要介護2・3の方が約8割を占めており、年間平均介護度は2.1と上昇している。特に訪問件数が昨年度は346.3件/月に対し今年度は398.2/月と増加しており、登録人数だけでは測れない一人ひとりに対するサービスの増加が窺える。一方、在宅での生活が難しくなり老健や短期入院をされる方も多く、3月末の時点でも複数名あり、全ての方が退所後に神宮寺利用を希望されているため(老健・入院者込みで3月末の契約者数は24名)、老健利用は今後もあると予測される中、その期間の利用者数の減少にどう対処すればよいかは以前からの課題となっている。

今年度もただちにサービスを要するケースや、家族の協力が得られず、金銭面・生命に関わる問題など、深く関与しないといけな案件もいくつかあり、地域包括支援センターとの連携あるいは迅速かつ柔軟なサービス提供のあり方や関与の中身について精査していく必要がある。

年間を通しての活動は、利用者主体で進めた作業レクや卓上ゲームが盛んな他、可能な限り毎日体操を行っている。また、ドライブや境内の散歩など、外に出かけることも意識している。行事は、4月に『神宮寺10周年祭』を開催し、ご利用者だけでなく地域の方など幅広く声をかけて催しを行った。その他、例年の行事も全て実施した。

【地域支援事業】

昼食付のいしかわサロンを年間9回、昼食なしで午後からのミニいしかわサロンを年間11回実施し、6つの地区公民館に3か月に1回は巡回するよう継続しているが、2月下旬からは新型コロナウイルス感染予防のため中止した。内容は、地区の参加者が主体となるよう要望を聞き、実施するようにしている。

あわしまサロンも月2～3回(3回実施のうち1回は神宮寺内でのてらのカフェ)、年間25回実施したが、3月は中止している。認知症予防の体操の他、あわしま祭での物品販売用の作品や石川区文化祭出展用の作品を作成するなど、作品作りに認知症予防以外の目的をもって実施している。また、今年も地域交流の場として、夏休み工作教室やもちつき大会を行った。

地域への訪問活動もほぼ毎月実施しており、可能な時は民生委員と一緒に訪問した。介護サービスを利用する前段階として、認知症のある方に個別訪問を行ったり、介護サービスの利用についての相談を受けるなどの活動も行っている。

2 利用者状況

(1) 利用状況

	月末登録者数	平均介護度	延通所数	延訪問数	延宿泊数
4月	17	1.9	191	361	1
5月	19	1.9	214	396	18
6月	20	2	217	372	15
7月	20	2	225	411	17
8月	20	2	249	380	23
9月	21	2.1	260	384	19
10月	23	2.1	280	367	26
11月	22	2.1	290	424	40
12月	22	2.1	306	460	37
1月	19	2.2	265	444	22
2月	22	2.1	286	400	32
3月	19	2.1	298	379	31
年間平均	20.3	2.1	256.8	398.2	23.4

(2)登録状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規者数	0	2	1	0	1	1	3	0	1	0	4	1	14
中止者数	1	0	0	0	1	0	1	1	1	3	1	3	12
月末登録者数	17	19	20	20	20	21	23	22	22	19	22	19	

(3)年齢別状況 3月度

	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	5	3	8
80－89	0	4	4
90－99	3	7	10
100－	0	0	0
合計	8	14	22
平均年齢	80.8	88.0	85.4

(4) 介護度別状況 3月度

	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	0	0	0
要介護1	1	4	5
要介護2	5	5	10
要介護3	2	5	7
要介護4	0	0	0
要介護5	0	0	0
合計	8	14	22

3 部署行事

月	行事名
4月	神宮寺10周年祭(4/13)・花見(板列神社・SL広場等)・ドライブ(栗田・獅子崎)神宮寺祭お土産作り
5月	春の遠足(府中～文殊)・ドライブ(岩滝方面等)・壁画作り
6月	壁画作り・あわしま祭用ゲーム景品作り
7月	あわしま祭(7/14)・あわしま祭用ゲーム景品作り
8月	ふれあい工作教室(8/6)・壁画作り・お盆(心経あげ、団子作り等)
9月	敬老週間・壁画作り・彼岸(おはぎ作り、心経・ご詠歌)
10月	秋の遠足(出石)・ドライブ(宮津、岩滝方面)・文化祭作品作り
11月	石川区文化祭(11/6)・ウイル文化祭(11/15～17)・紅葉狩りドライブ
12月	もちつき大会(12/22)・クリスマス(12/24～26)・年末手打ちそば
1月	新年祝賀(1/1, 2)・初詣(1/11)・壁画作り
2月	節分(2/3)・石川小3年生との交流会(2/21)・小学生へのお土産作り
3月	ひな祭り・彼岸(ぼたもち作り、心経あげ)・壁画作り